

# Technoscape in Kure

2024.1.17→3.25 wed mon

1951(昭和26)年以降、呉の製鉄所は半世紀以上にわたり呉の基幹産業としてまちを支えてきました。2023(令和5)年9月に全設備休止となり、呉の風景が変わろうとしています。

製鉄所の存在は、呉海軍工廠の跡地であること、そして第2次世界大戦後の呉が平和産業港湾都市を目指した歴史を内包しています。呉に育まれた産業技術者たちの優れた力を継承し、人々の生活の再建と永続的な平和への希求がそこにはありました。

そびえたつ製鉄所の高炉はランドマークとなり、造船、鉄鋼を主とした多くの工場が立地する呉の景観は重厚長大な視覚的イメージを個性とし、風土や歴史、そこに生きた人々の存在を含む総体として形作られてきました。古くは「くろがね(黒金)」と称され、のちに近代国家や産業の要となつた鉄という存在。鉄と共に歩んだ呉は、様々な近代化産業の遺産を随所に残し、独自の〈テクノスケープ(産業景観)〉を形成した都市として発展したのでした。そして呉の風景は今、変わろうとしています。

製鉄所を中心とした産業景観を描き出した画家・大形久典(呉市在住)の作品を中心に、本展は鉄鋼産業の発展と共に歩んだ呉の歴史を絵画と共に振り返ります。

# 鉄の記憶 製鉄所のある風景

出品作家  
大形久典

■呉の製鉄所について  
1950(昭和25)年から工場建設に着手し、翌1951(昭和26)年に日本製鋼呉工場が操業開始した。のち1959(昭和34)年に日本板橋と合併し、日新製鋼となる。高炉設置を進め、生産設備能力の向上に努め、鉄鋼一貫メーカーとして発展する。2020(令和2)年に日本板橋と合併し、2023(令和5)年9月に全設備を休止した。

■呉海軍工廠の跡地(製鉄所が立地した部分)について  
1889(明治22)年に開港した呉鎮守府前に設置された造船部門、兵器製造部門が統合し、1903(明治36)年に呉海軍工廠となる。いくつかに分割・増設などを重ねてきた各部門のうち、製鋼、甲板鋸、砕石工場、水雷実験部などの施設があった部分に日新製鋼が進出し現在に至る。



大形久典 「蘇った大和」 2016(平成28)年 キャンバス・油彩 91.0×116.8cm



大形久典 「日新製鋼所No.3」 2021(令和3)年 板・アクリル 60.6×72.7cm

■大形久典 おおがた・ひさのり

1944(昭和19)年、広島県呉市(倉橋町)に生まれる。英語教諭として働く傍ら、油彩画技法を洋画家・砂原久氏に学ぶ。のちに彫刻に興味を持ち彫刻家・吉田正浪氏に師事する。また、アクリル画の技法を洋画家・益村司氏に学ぶ。60代に入り、本格的に広島県内の各種公募展・国内展へ出品し、彫刻や絵画部門で入賞を重ねる。近年は、呉市内の貴重な旧別荘を活用して運営されている翠雲亭現代美術館に彫刻作品を出品している。現在、呉美術協会会員、新構造会員。\*新構造は2020(令和2)年まで所属

彫刻はテラコッタ(素焼き)の技法で人物像などの具象彫刻を手がける。絵画は風景を主体としながら個性ある色彩構成で対象を描きだす。人間の様々な営みを内包する都市景観を、独自の視点で描き出す点に特長がある。

土・日開放  
9:00am-4:00pm

無料

ただし別館入館料が必要です

## 美術館でピアノが弾けます

利用について(1人1時間程度)

事前予約したい方は、電話か別館受付でお申し込み下さい。それ以外の方は、自由にご利用できます。(ご予約の方優先)

注意事項

展示環境維持のため、演奏や利用を一時的にご遠慮いただく場合がございます。またメンテナンスの必要が生じた場合、予約・利用をキャンセルする場合がございます。ご了承下さい。

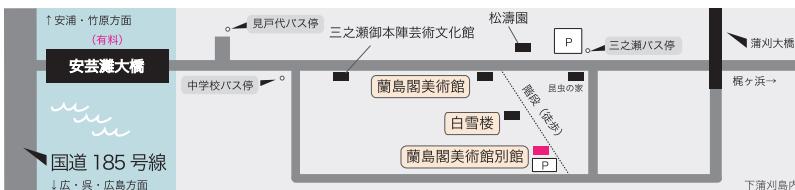
お問い合わせ・お申し込み

蘭島閣美術館別館 TEL.0823-65-2500 (受付時間 午前9時から午後4時30分)

島の美術館ピアノ  
海が見える高台の小さな美術館で、ピアノが待っています。  
1957年、ドイツで  
製造されたスタンウェイ社の  
クラシックピアノ。  
60年以上の時を超えてー。



別館公式 SNS



蘭島閣美術館別館

〒737-0301 広島県呉市下蒲刈町三之瀬195 TEL&FAX 0823-65-2500